

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40			2.8
1 音環境		3.0	0.15			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.50			
2 外皮性能		3.0	0.17			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50			
1 昼光率						
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレア対策						
1 昼光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御		3.0	0.50			
4 空気環境		2.8	0.25			2.8
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	内装のほぼ全面にJIS・JAS規格のF☆☆☆☆の建材を採用	4.0	1.00			
4.2 換気		2.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.50			
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50			
4.3 運用管理		1.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50			
2 喫煙の制御		1.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.1
1 機能性		3.0	0.40			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30			
1 広さ感・景観	売場の平均天井高: 3.3m	4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33			
3 内装計画		3.0	0.33			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.4
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		2.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高:4.5m以上	4.6	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	3.4
	2	空間の形状・自由さ	コア部分を最小限にしてプランの自由度を高めた	5.0	0.60		-	
3.2	荷重のゆとり		4.0	0.40		-		
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.30		-		
3.3	設備の更新性		3.0	0.40		-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	2.1
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0	
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30		-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-		
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.0
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制		2.0	0.20		-	2.0	
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.71 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50		-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEIm=0.71	4.0	1.00		-		
	集合住宅の評価(3c)		[Cross-hatch pattern]	-		-		
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-		
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-		
	集合住宅の評価		[Cross-hatch pattern]	-		-		
4.1	モニタリング		[Cross-hatch pattern]	-		-		
4.2	運用管理体制		[Cross-hatch pattern]	-		-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	2.5
1 水資源保護				3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60		-	2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-		
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.3	0.20		-	2.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-		
3.2 フロン・ハロンの回避				2.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-		
2	発泡剤(断熱材等)		-	-		-		
3	冷媒		2.0	1.00		-		
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=73%	4.0	0.33		-	4.0
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-		
3	交通負荷抑制	駐車場:65台、駐輪場:61台、バイク:5台	4.0	0.25		-		
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-		
3 周辺環境への配慮				2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-		
2	振動		-	-		-		
3	悪臭		-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-		
2	砂塵の抑制		[Cross-hatch pattern]	-		-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制				2.3	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70		-		
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-		